

<R03-No25 : 応用測量 (路線) : 問題>

次の文は、公共測量における三次元点群データを用いた路線測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 三次元点群データを用いて横断面図データファイルを作成しようとしたところ、地面の傾斜が急に変わる部分について、三次元点群データの密度が粗く精度を確保できていないことが判明したため、トータルステーションを用いて補備測量を行った。
2. 既設道路の線形改良において、別の測量計画機関が直前に公共測量として実施した車載写真レーザ測量成果があることが分かり、その精度を確認したところ、十分な精度を有していたため、当該測量計画機関に使用承認申請を行った。
3. 密な樹木に覆われた山地に新規道路を建設する上で、横断測量の断面図作成を効率的に実施するため、無人航空機 (UAV) を利用して撮影した写真から三次元点群データを新規で取得することとした。
4. 民家が点在する郊外で、新規道路建設のための路線測量の実施に当たり、当該地域は見通しがよいことから、地上レーザ点群測量により効率的に断面図作成を行うこととした。
5. 三次元点群データから TIN (不整三角網) 構造の地形モデルを作成し、その地形モデルから横断面図データファイルを作成した。